

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	自転車通行帯整備事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
自転車の走行環境の向上が図られています。		自転車の安全で快適な走行環境を向上させるため、幹線的な自転車ネットワークを整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	自転車走行環境向上推進研究会の開催(平成26年度から)			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標				3	
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	自転車通行帯整備進捗率(平成24年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの進捗累計に対する当該年度までの指数累計の率。(調査20%、協議20%、工事60%)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標		20	30	60	
	実績		20	30		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
国のガイドラインを参考に平塚市の自転車走行環境整備計画を策定するため、「平塚市自転車走行環境向上推進研究会」を立ち上げ、研究会を通して自転車ネットワーク候補路線の選定や整備形態の選定基準などの作成に取り組みました。						
平成25年度の検証結果	A: 成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	自転車利用アンケート調査(H20.10)によれば、歩行者と混在して走りづらい(52%)や自動車と混在して危険(40%)等、自転車通行帯整備の必要性が望まれています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	この事業により、平塚市総合交通計画における自転車ネットワークが形成され、自転車の走行環境の向上が図られます。また、継続によるネットワーク効果で、市民の利便性が上がり、事業の有効性が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市域の大部分が平坦な平塚市において、自転車の走行環境を整えることは、過度な自動車利用の転換を促し、交通混雑の解消、環境負荷の低減等が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民や関係する団体等の意見を取り入れ、自転車ネットワーク計画の策定を効率よく進めます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 自転車の走行環境の向上と連続性を確保するためには、整備形態パターンやネットワーク路線の選定が課題となり、関係機関と十分な協議が必要となります。また、平塚の特徴である路線バスが多い路線で自転車走行空間の実証実験による効果的な検証をすることが必要になります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容			自転車通行環境調査	整備形態の検討、警察との協議	研究会の開催、自転車走行環境整備計画の策定、設計・工事
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	3,446	0	15,000
事業費 (A)		0	3,446	0	15,000
執行率 (%)		—	98.46	—	
内訳	職員 (人)	0.00	0.40	0.65	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.20	0.00	0.00
人件費 (B)		0	3,887	5,167	6,251
フルコスト (A+B)		0	7,333	5,167	21,251

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 自転車通行帯整備事業は、自転車走行環境整備計画に基づきネットワークの整備を順次進めていきますが、実証実験で検証したバス停周辺の整備形態を見直していく等、環境の変化に柔軟に対応し、関係機関と十分に協議を重ねながら取り組んでいきます。
課長コメント 平塚市総合交通計画の中で自転車ネットワークの配置方針で示されているとおり、自転車の利便性向上が交通課題として挙げられているので、駅や公共機関等の日常のものから、レクリエーション的なものまで、段階的にネットワークの整備推進を図る必要があります。